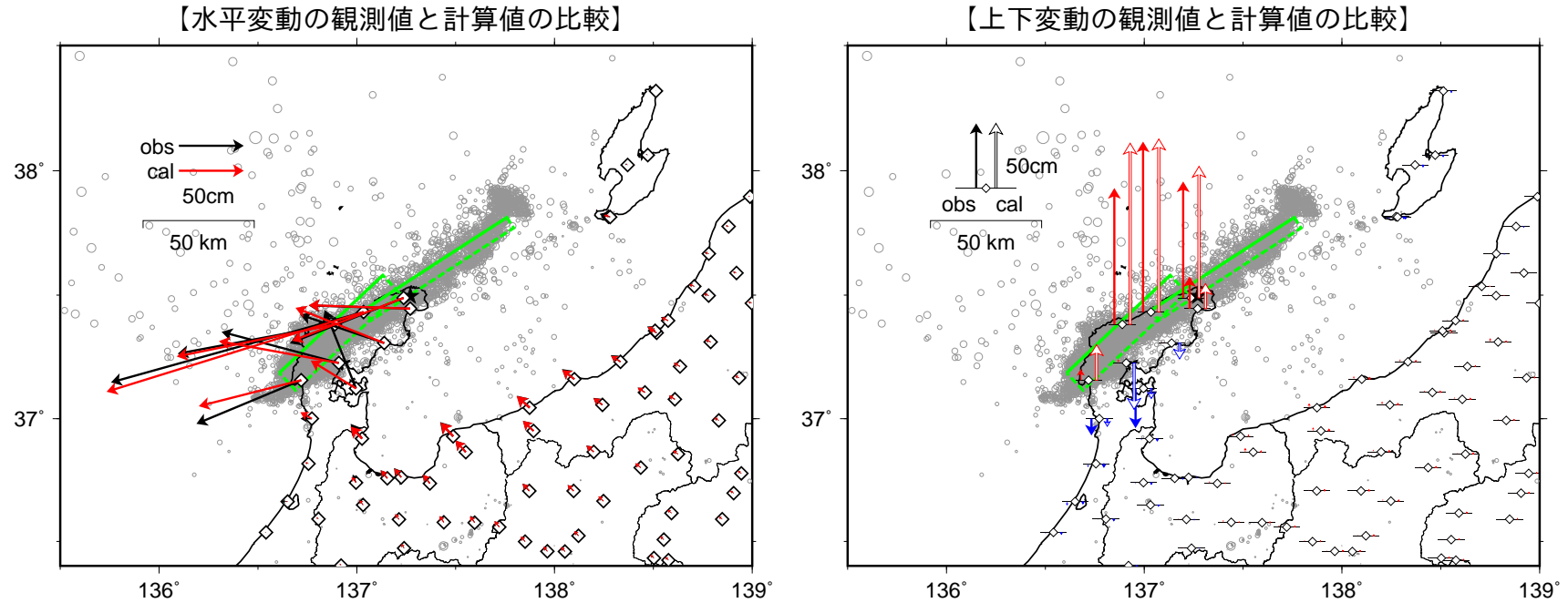


# 令和6年能登半島地震の震源断層モデル（暫定）

基準期間：2023年12月25日～2023年12月31日 (R5解) JST  
 比較期間：2024年1月2日～2024年1月5日 (R5解) JST



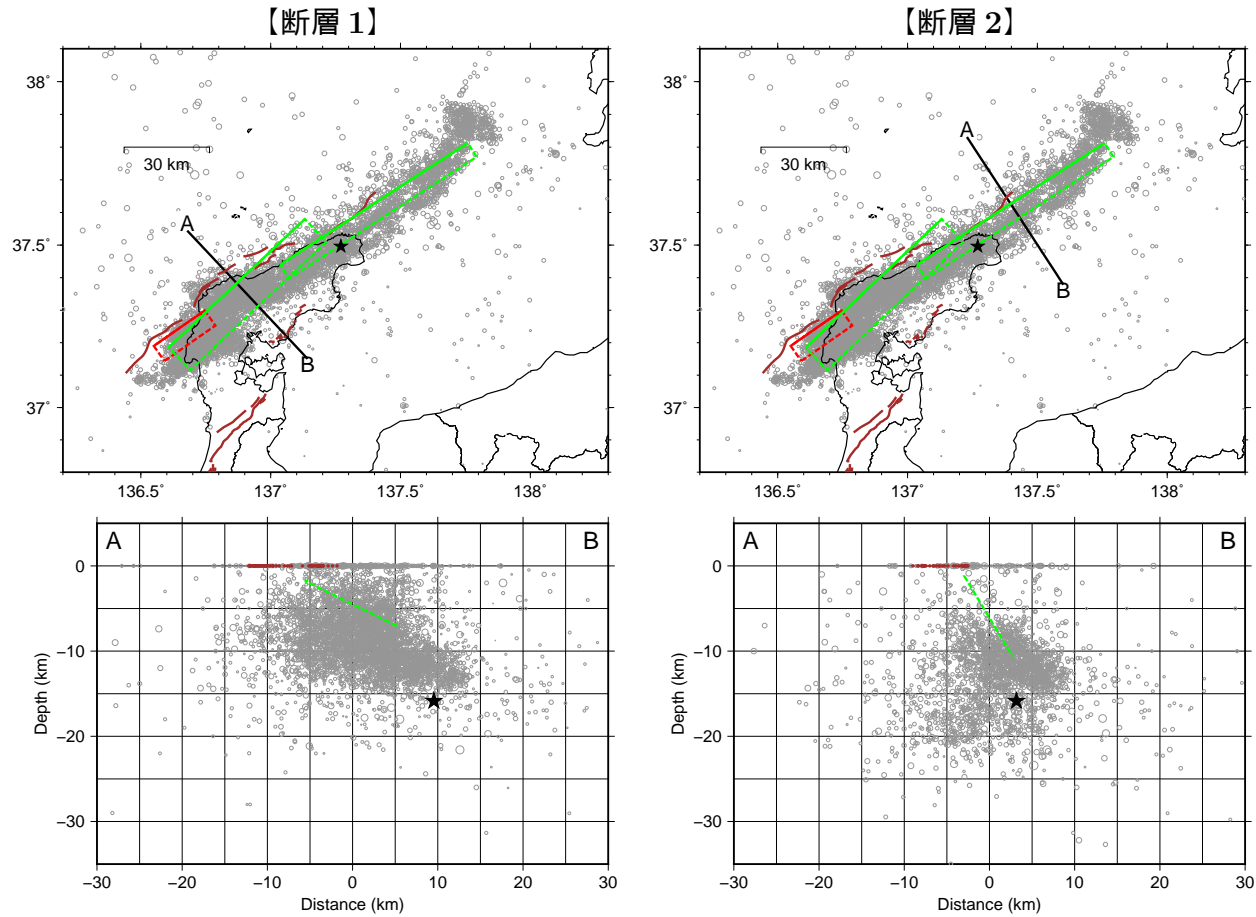
- ・ 黒色の星は 01-01 Mj7.6 の震源、灰色丸は震源分布（気象庁一元化震源（気象庁）を使用）、2024年1月1日16時10分～1月3日23時59分。
- ・ 黄緑色の矩形は震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。

## 【推定された震源断層パラメータ】

経度	緯度	上端深さ km	長さ km	幅 km	走向	傾斜	すべり角	すべり量 m	$M_w$
136.608	37.185	1.8	63.8	11.9	46.9	26.0	124.4	3.85	7.23
(0.001)	(0.001)	(0.2)	(0.3)	(0.2)	(0.4)	(1.0)	(0.7)	(0.08)	(0.00)
137.037	37.439	1.2	76.0	10.8	56.9	59.0	99.3	4.31	7.28
(0.002)	(0.010)	(0.1)	(1.1)	(0.5)	(2.2)	(0.6)	(0.6)	(0.06)	(0.01)

- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ（MCMC）法を用いてモデルパラメータを推定。括弧内は誤差（ $1\sigma$ ）を示す。
- ・  $M_w$  と断層面積をスケーリング則（Strasser et al., 2010）に近づくように拘束。
- ・  $M_w$  の計算においては、剛性率を 30GPa と仮定。2枚の断層の合計の  $M_w$  は 7.46。

# 令和6年能登半島地震の震源断層モデルと震源分布の比較（暫定）



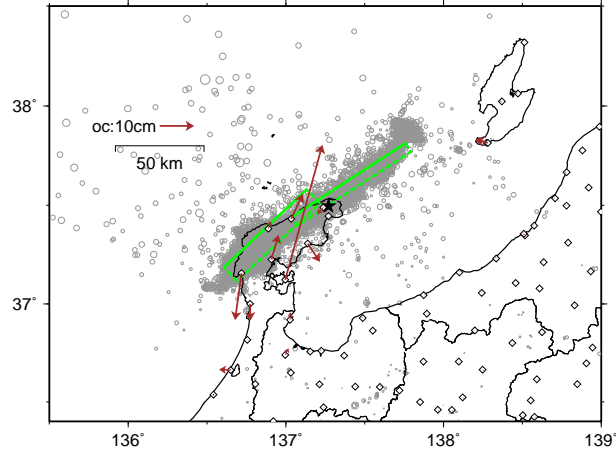
- ・ 黒色の星は 01-01 Mj7.6 の震源、灰色丸は震源分布（気象庁一元化震源（気象庁）を使用）、2024 年 1 月 1 日 16 時 10 分～1 月 3 日 23 時 59 分。
- ・ 黄緑色の矩形は震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ 赤色の矩形は平成 19 年（2007 年）能登半島地震の震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ 茶色線は、産業技術総合研究所の活断層データベースの活断層トレース。

# 令和6年能登半島地震の震源断層モデル（暫定）

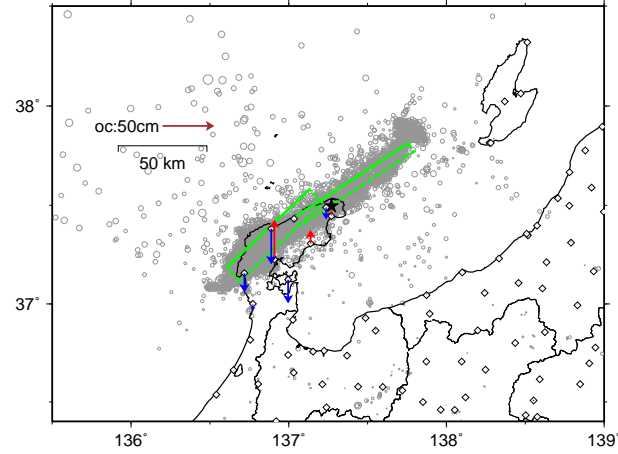
基準期間：2023年12月25日～2023年12月31日 (R5解) JST

比較期間：2024年1月2日～2024年1月5日 (R5解) JST

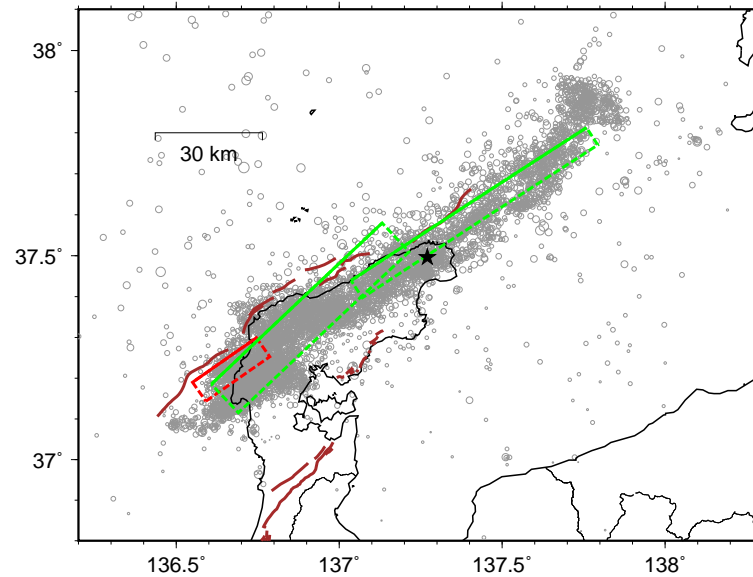
### 【水平変動の残差】



### 【上下変動の残差】



### 【産総研の活断層DBのトレースとの比較】



- ・ 黒色の星は 01-01 Mj7.6 の震源、灰色丸は震源分布（気象庁一元化震源（気象庁）を使用）、2024年1月1日16時10分～1月3日23時59分。
- ・ 黄緑色の矩形は震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ 赤色の矩形は平成19年（2007年）能登半島地震の震源断層モデルを地表面に投影した位置で、実線が断層上端。
- ・ 茶色線は、産業技術総合研究所の活断層データベースの活断層トレース。